

H30年度 学校教育自己診断 教員

I 教育活動に関するもの

アンケート回答数 今年度 54 (回答率 100%) 前年度 53 (回答率 100%)

No.	診断内容		1	2	3	4	無回答	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答増減
			よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない				
1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。		16 (29.6 %)	34 (63.0 %)	1 (1.9 %)	0 (0.0 %)	3	92.6 %	1.9 %	-3.6
		前年	22 (41.5 %)	29 (54.7 %)	1 (1.9 %)	0 (0.0 %)	1	96.2 %	1.9 %	
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。		7 (13.0 %)	27 (50.0 %)	16 (29.6 %)	1 (1.9 %)	3	63.0 %	31.5 %	-21.9
		前年	12 (22.6 %)	33 (62.3 %)	7 (13.2 %)	1 (1.9 %)	0	84.9 %	15.1 %	
3	教職員は生徒の意見をよく聞いている。		19 (35.2 %)	18 (33.3 %)	14 (25.9 %)	0 (0.0 %)	3	68.5 %	25.9 %	-18.3
		前年	17 (32.1 %)	29 (54.7 %)	6 (11.3 %)	1 (1.9 %)	0	86.8 %	13.2 %	
4	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応えている。		10 (18.5 %)	33 (61.1 %)	8 (14.8 %)	0 (0.0 %)	3	79.6 %	14.8 %	2.3
		前年	11 (20.8 %)	30 (56.6 %)	10 (18.9 %)	1 (1.9 %)	1	77.4 %	20.8 %	
5	各教科において、教材の精選・工夫を行っている。		17 (31.5 %)	31 (57.4 %)	3 (5.6 %)	0 (0.0 %)	3	88.9 %	5.6 %	-9.2
		前年	22 (41.5 %)	30 (56.6 %)	1 (1.9 %)	0 (0.0 %)	0	98.1 %	1.9 %	
6	少人数指導を取り入れるなど、指導方法の工夫・改善に努めている。		17 (31.5 %)	30 (55.6 %)	4 (7.4 %)	0 (0.0 %)	3	87.0 %	7.4 %	-3.5
		前年	26 (49.1 %)	22 (41.5 %)	4 (7.5 %)	1 (1.9 %)	0	90.6 %	9.4 %	
7	創意工夫を生かした総合的な学習の時間を実施している。		16 (29.6 %)	20 (37.0 %)	9 (16.7 %)	5 (9.3 %)	4	66.7 %	25.9 %	-12.6
		前年	25 (47.2 %)	17 (32.1 %)	6 (11.3 %)	3 (5.7 %)	2	79.2 %	17.0 %	
8	思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている。		6 (11.1 %)	19 (35.2 %)	24 (44.4 %)	2 (3.7 %)	3	46.3 %	48.1 %	-6.5
		前年	8 (15.1 %)	20 (37.7 %)	21 (39.6 %)	3 (5.7 %)	1	52.8 %	45.3 %	
9	生徒の実態をふまえ、参加体験型の学習を行うなど、指導方法の工夫・改善を行っている。		12 (22.2 %)	29 (53.7 %)	9 (16.7 %)	1 (1.9 %)	3	75.9 %	18.5 %	2.3
		前年	14 (26.4 %)	25 (47.2 %)	12 (22.6 %)	1 (1.9 %)	1	73.6 %	24.5 %	
10	到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる。		11 (20.4 %)	25 (46.3 %)	14 (25.9 %)	1 (1.9 %)	3	66.7 %	27.8 %	-12.6
		前年	19 (35.8 %)	23 (43.4 %)	9 (17.0 %)	2 (3.8 %)	0	79.2 %	20.8 %	
11	カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。		16 (29.6 %)	25 (46.3 %)	9 (16.7 %)	0 (0.0 %)	4	75.9 %	16.7 %	-1.4
		前年	16 (30.2 %)	25 (47.2 %)	9 (17.0 %)	1 (1.9 %)	2	77.4 %	18.9 %	
12	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。		19 (35.2 %)	26 (48.1 %)	6 (11.1 %)	0 (0.0 %)	3	83.3 %	11.1 %	-5.3
		前年	26 (49.1 %)	21 (39.6 %)	4 (7.5 %)	1 (1.9 %)	1	88.7 %	9.4 %	
13	生徒による問題行動が起こった時、組織的に対応できる体制が整っている。		13 (24.1 %)	26 (48.1 %)	12 (22.2 %)	0 (0.0 %)	3	72.2 %	22.2 %	-22.1
		前年	32 (60.4 %)	18 (34.0 %)	3 (5.7 %)	0 (0.0 %)	0	94.3 %	5.7 %	
14	様々な問題行動の防止のための早期指導に学校全体で取り組んでいる。		14 (25.9 %)	27 (50.0 %)	9 (16.7 %)	1 (1.9 %)	3	75.9 %	18.5 %	-10.9
		前年	18 (34.0 %)	28 (52.8 %)	6 (11.3 %)	1 (1.9 %)	0	86.8 %	13.2 %	
15	生徒指導において、警察・少年サポートセンター・子ども家庭センター等の関係諸機関との連携ができています。		17 (31.5 %)	22 (40.7 %)	9 (16.7 %)	1 (1.9 %)	5	72.2 %	18.5 %	-5.1
		前年	24 (45.3 %)	17 (32.1 %)	10 (18.9 %)	0 (0.0 %)	2	77.4 %	18.9 %	
16	校則が、生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、生徒や教職員の間で話し合う機会がある。		6 (11.1 %)	17 (31.5 %)	23 (42.6 %)	3 (5.6 %)	5	42.6 %	48.1 %	-6.5
		前年	7 (13.2 %)	19 (35.8 %)	17 (32.1 %)	9 (17.0 %)	1	49.1 %	49.1 %	
17	生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、系統的なキャリア教育を行っている。		14 (25.9 %)	27 (50.0 %)	9 (16.7 %)	1 (1.9 %)	3	75.9 %	18.5 %	2.3
		前年	15 (28.3 %)	24 (45.3 %)	12 (22.6 %)	0 (0.0 %)	2	73.6 %	22.6 %	
18	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。		15 (27.8 %)	25 (46.3 %)	10 (18.5 %)	0 (0.0 %)	4	74.1 %	18.5 %	-10.8
		前年	19 (35.8 %)	26 (49.1 %)	7 (13.2 %)	0 (0.0 %)	1	84.9 %	13.2 %	
19	奨学金教育教材等を活用して奨学金制度等について指導している。		12 (22.2 %)	28 (51.9 %)	8 (14.8 %)	1 (1.9 %)	5	74.1 %	16.7 %	2.4
		前年	16 (30.2 %)	22 (41.5 %)	11 (20.8 %)	2 (3.8 %)	2	71.7 %	24.5 %	
20	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。		14 (25.9 %)	30 (55.6 %)	6 (11.1 %)	1 (1.9 %)	3	81.5 %	13.0 %	-5.3
		前年	24 (45.3 %)	22 (41.5 %)	7 (13.2 %)	0 (0.0 %)	0	86.8 %	13.2 %	
21	生徒会活動を通じて、生徒が民主的な手続きを経て、主体的に活動できるよう学校全体で支援している。		10 (18.5 %)	28 (51.9 %)	9 (16.7 %)	4 (7.4 %)	3	70.4 %	24.1 %	-3.2
		前年	16 (30.2 %)	23 (43.4 %)	13 (24.5 %)	0 (0.0 %)	1	73.6 %	24.5 %	
22	学校として、部活動の活性化について工夫している。		9 (16.7 %)	19 (35.2 %)	21 (38.9 %)	2 (3.7 %)	3	51.9 %	42.6 %	-16.1
		前年	9 (17.0 %)	27 (50.9 %)	12 (22.6 %)	4 (7.5 %)	1	67.9 %	30.2 %	
23	情報リテラシーや情報モラルを高める教育に取り組んでいる。		11 (20.4 %)	26 (48.1 %)	14 (25.9 %)	0 (0.0 %)	3	68.5 %	25.9 %	-10.7
		前年	13 (24.5 %)	29 (54.7 %)	9 (17.0 %)	1 (1.9 %)	1	79.2 %	18.9 %	
24	教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している。		10 (18.5 %)	25 (46.3 %)	14 (25.9 %)	2 (3.7 %)	3	64.8 %	29.6 %	-6.9
		前年	14 (26.4 %)	24 (45.3 %)	12 (22.6 %)	2 (3.8 %)	1	71.7 %	26.4 %	

25	教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している。		11 (20.4 %)	31 (57.4 %)	9 (16.7 %)	0 (0.0 %)	3	77.8 %	16.7 %	-1.5
		前年	13 (24.5 %)	29 (54.7 %)	10 (18.9 %)	0 (0.0 %)	1	79.2 %	18.9 %	
26	人権尊重の教育において、参加体験型の学習内容・方法を取り入れるなど感性を高める指導を行っている。		8 (14.8 %)	23 (42.6 %)	18 (33.3 %)	3 (5.6 %)	2	57.4 %	38.9 %	-3.0
		前年	8 (15.1 %)	24 (45.3 %)	17 (32.1 %)	2 (3.8 %)	2	60.4 %	35.8 %	
27	同和問題や在日外国人問題などの人権問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会をめざす主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している。		9 (16.7 %)	22 (40.7 %)	19 (35.2 %)	0 (0.0 %)	4	57.4 %	35.2 %	14.0
		前年	6 (11.3 %)	17 (32.1 %)	21 (39.6 %)	5 (9.4 %)	4	43.4 %	49.1 %	
28	障がい者理解を深め、ノーマライゼーションの理念に基づく社会を築く資質を養うことができるよう工夫している。		9 (16.7 %)	24 (44.4 %)	13 (24.1 %)	4 (7.4 %)	4	61.1 %	31.5 %	8.3
		前年	6 (11.3 %)	22 (41.5 %)	18 (34.0 %)	4 (7.5 %)	3	52.8 %	41.5 %	
29	固定的な性別役割分担意識を是正し、男女共生意識に基づく社会を築く資質を養うことができるよう工夫している。		6 (11.1 %)	25 (46.3 %)	15 (27.8 %)	3 (5.6 %)	5	57.4 %	33.3 %	8.4
		前年	8 (15.1 %)	18 (34.0 %)	22 (41.5 %)	2 (3.8 %)	3	49.1 %	45.3 %	
30	体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導が行われている。		13 (24.1 %)	32 (59.3 %)	5 (9.3 %)	0 (0.0 %)	4	83.3 %	9.3 %	2.2
		前年	19 (35.8 %)	24 (45.3 %)	8 (15.1 %)	0 (0.0 %)	2	81.1 %	15.1 %	

II 学校経営に関するもの

	診断内容		A よくあてはまる	B ややあてはまる	C あまりあてはまらない	D まったくあてはまらない	無 回 答	肯定的 回答	否定的 回答	肯定的 回答増 減
31	校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している。		12 (22.2 %)	26 (48.1 %)	9 (16.7 %)	5 (9.3 %)	2	70.4 %	25.9 %	-8.9
		前年	22 (41.5 %)	20 (37.7 %)	6 (11.3 %)	4 (7.5 %)	1	79.2 %	18.9 %	
32	学校運営に教職員の意見が反映されている。		5 (9.3 %)	12 (22.2 %)	25 (46.3 %)	9 (16.7 %)	3	31.5 %	63.0 %	-30.8
		前年	8 (15.1 %)	25 (47.2 %)	15 (28.3 %)	5 (9.4 %)	0	62.3 %	37.7 %	
33	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。		5 (9.3 %)	20 (37.0 %)	19 (35.2 %)	6 (11.1 %)	4	46.3 %	46.3 %	-17.9
		前年	8 (15.1 %)	26 (49.1 %)	14 (26.4 %)	5 (9.4 %)	0	64.2 %	35.8 %	
34	各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。		9 (16.7 %)	22 (40.7 %)	16 (29.6 %)	3 (5.6 %)	4	57.4 %	35.2 %	-14.3
		前年	13 (24.5 %)	25 (47.2 %)	11 (20.8 %)	3 (5.7 %)	1	71.7 %	26.4 %	
35	教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。		12 (22.2 %)	24 (44.4 %)	13 (24.1 %)	1 (1.9 %)	4	66.7 %	25.9 %	-3.1
		前年	19 (35.8 %)	18 (34.0 %)	14 (26.4 %)	2 (3.8 %)	0	69.8 %	30.2 %	
36	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。		14 (25.9 %)	27 (50.0 %)	7 (13.0 %)	3 (5.6 %)	3	75.9 %	18.5 %	-7.1
		前年	17 (32.1 %)	27 (50.9 %)	6 (11.3 %)	3 (5.7 %)	0	83.0 %	17.0 %	
37	学校予算は一定のルールに基づき、適切に編成・執行されている。		19 (35.2 %)	31 (57.4 %)	2 (3.7 %)	0 (0.0 %)	2	92.6 %	3.7 %	15.2
		前年	19 (35.8 %)	22 (41.5 %)	10 (18.9 %)	0 (0.0 %)	2	77.4 %	18.9 %	
38	生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている。		2 (3.7 %)	23 (42.6 %)	22 (40.7 %)	4 (7.4 %)	3	46.3 %	48.1 %	6.7
		前年	10 (18.9 %)	11 (20.8 %)	21 (39.6 %)	11 (20.8 %)	0	39.6 %	60.4 %	
39	この学校では、清掃がいきとどいている。		2 (3.7 %)	16 (29.6 %)	25 (46.3 %)	10 (18.5 %)	1	33.3 %	64.8 %	3.1
		前年	2 (3.8 %)	14 (26.4 %)	19 (35.8 %)	18 (34.0 %)	0	30.2 %	69.8 %	
40	施設・設備の拡充は、日常的に点検や管理が行われており、長期的見通しに立って拡充が計画されている。		3 (5.6 %)	21 (38.9 %)	24 (44.4 %)	3 (5.6 %)	3	44.4 %	50.0 %	1.0
		前年	7 (13.2 %)	16 (30.2 %)	18 (34.0 %)	10 (18.9 %)	2	43.4 %	52.8 %	
41	コンピュータ等のICT機器が、授業などで活用されている。		5 (9.3 %)	26 (48.1 %)	18 (33.3 %)	2 (3.7 %)	3	57.4 %	37.0 %	-3.0
		前年	8 (15.1 %)	24 (45.3 %)	15 (28.3 %)	5 (9.4 %)	1	60.4 %	37.7 %	
42	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。		3 (5.6 %)	20 (37.0 %)	22 (40.7 %)	5 (9.3 %)	4	42.6 %	50.0 %	-21.6
		前年	7 (13.2 %)	27 (50.9 %)	14 (26.4 %)	5 (9.4 %)	0	64.2 %	35.8 %	
43	学校内で他の教員の授業を見学する機会がある。		17 (31.5 %)	25 (46.3 %)	9 (16.7 %)	0 (0.0 %)	3	77.8 %	16.7 %	-7.1
		前年	19 (35.8 %)	26 (49.1 %)	4 (7.5 %)	3 (5.7 %)	1	84.9 %	13.2 %	
44	研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。		7 (13.0 %)	26 (48.1 %)	17 (31.5 %)	1 (1.9 %)	3	61.1 %	33.3 %	10.2
		前年	5 (9.4 %)	22 (41.5 %)	21 (39.6 %)	3 (5.7 %)	2	50.9 %	45.3 %	
45	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立されている。		10 (18.5 %)	29 (53.7 %)	11 (20.4 %)	1 (1.9 %)	3	72.2 %	22.2 %	-12.7
		前年	10 (18.9 %)	35 (66.0 %)	7 (13.2 %)	0 (0.0 %)	1	84.9 %	13.2 %	
46	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。		15 (27.8 %)	29 (53.7 %)	6 (11.1 %)	0 (0.0 %)	4	81.5 %	11.1 %	7.9
		前年	12 (22.6 %)	27 (50.9 %)	11 (20.8 %)	1 (1.9 %)	2	73.6 %	22.6 %	
47	情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている。		20 (37.0 %)	29 (53.7 %)	2 (3.7 %)	0 (0.0 %)	3	90.7 %	3.7 %	0.2
		前年	25 (47.2 %)	23 (43.4 %)	4 (7.5 %)	0 (0.0 %)	1	90.6 %	7.5 %	
48	保護者や地域の人々と接する機会を設けている。		17 (31.5 %)	29 (53.7 %)	6 (11.1 %)	0 (0.0 %)	2	85.2 %	11.1 %	-3.5
		前年	15 (28.3 %)	32 (60.4 %)	5 (9.4 %)	0 (0.0 %)	1	88.7 %	9.4 %	
49	いじめ（疑いも含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。		10 (18.5 %)	20 (37.0 %)	17 (31.5 %)	2 (3.7 %)	5	55.6 %	35.2 %	-35.0
		前年	15 (28.3 %)	33 (62.3 %)	3 (5.7 %)	1 (1.9 %)	1	90.6 %	7.5 %	

昨年と比べて回答率が10%以上増減した項目